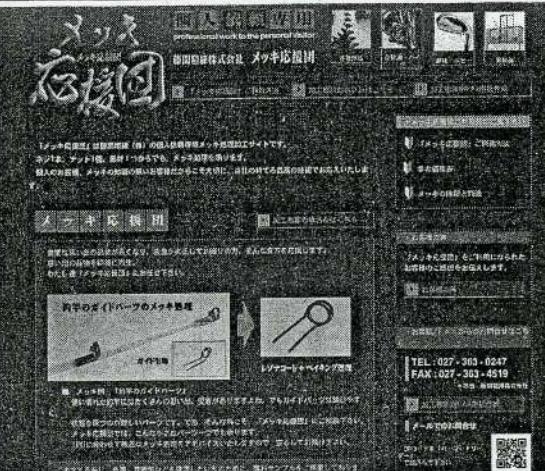


(9)

2009年(平成21年)6月25日(木曜日)



自社HP上に開設した「メッキ応援団」



藤間社長

「メッキ応援団」は今年4月にホームページを刷新したの機に立ち上げた。従来サイト内でも「メッキの達人」コーナーを設け、個人需要に対応していたが、福井県のあるめつき業者が、同様の試みにより業績を拡大していく中、より本腰を

入れていこうとインパクトのあるネーミングにするとともに、利用者の声を掲載することなどで、PR力を高めた。

現在、対応しているのは、同社の独自技術であり、県の推奨する1社1技術企業のなかでも特に優れた技術に授与される「中川賞」を受賞した無電解アフロンめつき「レナコート」を始めとした10種類のめつき加工。

「中川賞」を受賞した無電解アフロンめつき「レナコート」を始めとした10種類のめつき加工。

これまでの依頼動向を見ると、旧車のレストアや腕時計のバーツなどが主流だが、中には、モデルガンショップから、既製品に新たなめつき加工を施したショップオーリナルモデルを受注したケ

金属表面処理の藤間精鍛

金属表面処理の藤間精鍛（高崎市飯塚町1772、藤間一夫社長 027-363-0247）はこのほど、自社ホームページ（<http://www.tomaseiren.com>）内に個人依頼の専門サイト「メッキ応援団」を開設した。景気が低迷する中、個人需要を取り込んで、古くなった思い出の品の再生や自動車、バイク部品のレストアはもちろん、既存製品をさらにこだわりのある一品にリニューアルする。

個人依頼の専門サイト

「メッキ応援団」を開設

だわり商品の需要にも対応し、事業をPRしていく方針だ。藤間一夫社長の話現 在対象となっているめつき加工は当社と協力会社で行っているものだが、最終的には、群馬県鍍金工業組合の加盟企業らと連携して、多くの加工ができるようにしていければ。

「メッキ応援団」は今

年4月にホームページを刷新したの機に立ち上げた。従来サイト内でも「メッキの達人」コーナー

を設け、個人需要に対応していたが、福井県のあるめつき業者が、同様の試みにより業績を拡大していく中、より本腰を

入れていこうとインパク

トのあるネーミングにするとともに、利用者の声を掲載することなどで、PR力を高めた。

現在、対応しているのは、同社の独自技術であり、県の推奨する1社1技術企業のなかでも特に優れた技術に授与される「中川賞」を受賞した無電解アフロンめつき「レナコート」を始めとした10種類のめつき加工。

これまでの依頼動向を見ると、旧車のレストアや腕時計のバーツなどが主流だが、中には、モデルガンショップから、既製品に新たなめつき加工を施したショップオーリナルモデルを受注したケ

それをめつき特性を一般の人でも分かりやすくネット上で解説しているほか、電話やメールのやり取りなどにより、目的に応じた最適なめつき法を提案。色調や雰囲気を確認したい人には無料サンプルも用意しており、幅広い需要に対応する。